

# 塚越広大 レース結果報告



2009年5月22日～23日 全日本フォーミュラ・ニッポン 第2戦 参加台数14台  
サーキット ツインリンクもてぎ

フォーミュラ・ニッポンの第2戦が地元栃木県のツインリンクもてぎで行われました。

予選

天候・・・晴れ

予選はノックアウト方式が採用され1セッションごとに下位のマシンが脱落していくルールでした。

Q1・・・／6位

20分間で行われました。最初はユーズドタイヤでコースに出てマシンの確認をしました。ここでマシンバランスを確認し、残り約6分を過ぎた頃、NEWタイヤでアタックにいきました。NEWになってグリップがあがったのですが、若干バランスが変わってしまい、1周のアタックで走りを修正することが出来ず6番手タイムとなりました。しかし、Q1を通過することは出来ました。

Q2・・・／1位

10分間のインターバルを挟み残った11台でQ2が行われました。Q1のマシンフィーリングを元にセッティングを変更しました。そして、NEWタイヤでのバランスも良く、自分自身も落ちついてマシンを走らせることが出来、トップタイムでQ2をクリアしました。

Q3・・・／5位

10分間のインターバルを挟み最後の予選に臨みました。Q1、Q2と路面が良くなっていくことを見越してセッティングを変えて最後のアタックに臨みました。Q2でマシンバランスが良かったので、微調整のみでアタックに入りました。タイム差がほとんどないので集中してアタックに入りました。しかし、少し焦ってしまい各コーナーでスライドが多くなってしまいました。続けてもう1ラップアタックしましたが、ツインリンクもてぎはブレーキに厳しく、止まりにくくなってしまいタイムアップすることが出来ませんでした。トップとのタイム差が0.107秒差で5番手という非常に悔しい結果になってしまいました。

決勝・・・／2位

天候・・・雨

午前中に行われた30分間の走行でガソリンを積んだ状態でのバランスを確認しました。雨が降る可能性があったので、雨を見越したガソリン量を搭載して走りました。1度だけピットに戻り、セッティングを変更して再びコースに戻り、確認が出来たところでチェッカーを受けてピットに戻りました。

そして、迎えた決勝ですが、徐々に雨脚が強くなり完全なウェットコンディションになりました。決勝前に雨用のセッティングに変更し、ウォームアップ走行8分間が行われ、短い中ですがマシンの感触もよかったので、大きくセッティングを変更することなく52周の決勝に臨みました。

フォーメーションラップでタイヤを温め、スタートをうまく決められるようにしました。グリッドに着いてシグナルが変わるのを待ちました。そして、シグナルが変わりスタート。ホイールスピンが多くなるようにしたため、エンジン回転が落ちすぎてしまい、止まりそうになりましたが、そこからうまく加速することが出来、2台抜いて3番手で1コーナーに入りました。

水しぶきで視界が悪い状態でしたが、差を付けられないようにコースサイドの看板や感覚をたよりに前を走るマシンに着いていきました。3周目に前を走っていたマシンがコースアウトしたため2番手に上がり、トップを追いかけました。しかし、トップのペースが早く徐々に差を付けられてしまいました。一瞬のミスでコースアウト、スピンしそうな状況で集中して走りました。また、チームに無線でタイヤの状況を伝えながら周回を重ねました。

そして、33周目にピットに入り、給油のみ作業を行いコースに戻りました。アウトラップからブッシュしていき、終盤になっても2番手のポジションをキープすることが出来ました。3番手のマシンが約3秒差で走っていたのですが、最後まで集中することが出来、2位でチェッカーを受けました。

今回初の表彰台を獲得することが出来、ホンダ様、良い車を用意して下さった田中監督ならびにリアルチームスタッフの皆さん、スポンサーの方々、そしてファンの皆様、本当にありがとうございました。この結果を非常にうれしく思います。

しかし、2位といえどもトップからは大差を付けられたレースになってしまいましたので、次回の富士スピードウェイのレースまでに、今回の予選・決勝レースでの自分の至らなかったところを分析して優勝出来るように準備します。

今後も応援よろしくお願いします。

次回のレース・・・7月17日、18日 富士スピードウェイ

塚越広大